

一般社団法人 生活クラブ福祉事業基金
2026 年度【第 3 回】「つながりづくり助成」実施要項

2025 年 3 月 7 日
一般社団法人生活クラブ福祉事業基金 理事会

1. 趣旨

・生活クラブ福祉事業基金＜特別枠＞「つながりづくり助成」（以下、「つながりづくり助成」と略す）は地域とのつながりや支え合いをつくるために 2024 年度、2025 年度の2年間限定で実施したところ、応募も多数あり必要性も確認できたため継続して取り組みます。地域社会への貢献や福祉の日常化※を目指し、生活クラブ福祉事業基金が組合員にとって必要で身近になることを目的に、事務手続きなどを簡素化、チャレンジ性を重視した新たな取り組みを支援し、少人数の組合員が身近な地域で居場所づくりなどの活動を始めてみようと思えるような参加型福祉の実践を応援しました。

※福祉の日常化・・・誰にでも起こりうる困りごと、そして支援を日常的な営みに埋め込むことで、する側・される側含めて特別なものにしてしまわない共生型社会の構築を行うこと。それは「支える側」を支えなおし、「支えられる側」の参加機会を拡大する双方向的な取り組みであり、日常の中に支えあう関係をつくりだすこと、誰もが担い手となる在りようをめざすことです。

・2024 年 7 月 24 日（木）、8月29日（木）に 2024 年度（第 1 回）「つながりづくり助成」審査会を開催し、合計17 団体 3,386,347 円の助成を行いました。また、2025 年度（第 2 回）「つながりづくり助成」審査会を 2025 年 2 月 4 日（火）・3月7日（金）に開催し、7 団体/1,389,641 円の助成を行いました。

・2026 年度からは＜特別枠＞ではなく、①生活クラブと共に地域の中でのつながりや支え合いをつくる。②福祉の日常化をすすめる。③チャレンジ性を重視した新たな取り組みを支援する。以上3点を目的に「つながりづくり助成」へ取り組んでいきます。

2. 助成対象団体

- ① 生活クラブ会員単協と日常的に交流のある団体。
- ② 会員単協と連携して新規で立ち上げる活動または事業を行なう団体。

※ 必要とする団体・個人との対応は単協が窓口としてすすめます。

3. 助成対象となる活動または事業と助成金額

●助成対象活動または事業：地域とのつながりや支え合いをつくるのが地域社会への貢献、福祉の日常化につながるという視点を持つ活動または事業。

①新規で立ち上げる活動または事業が助成対象です。

※既存団体でも新規で対象の活動または事業を立ち上げる場合は助成対象となります。

②組合員 3 人以上が関わり、定期的（月 1 回以上の開所や活動）な計画をもつことを原則とします。

・1年間で1回を助成の上限とします。

・1 単協で1年間 2 団体までの申請とします。

（東京単協・神奈川単協は、ブロック単協 4・地域生協 5 それぞれで 2 団体ずつ募集可能です）

・当該単協理事会の推薦書が必要です。

●助成額：500 万円

○助成金額:1 件につき 20 万円

以下の新規事業・活動に支援します。

1) みんなの食堂・子ども食堂

- ・事業を立ち上げるみんなの食堂・子ども食堂を応援します。
- ・定期的（月 1 回以上）な開所や活動計画を持つ活動または事業が対象です。

2) フードバンク事業

- ・ひとり親家庭や生活困窮家庭に対し支援活動を行う予定、フードバンク拠点の開設を計画している団体のフードバンク活動または事業を応援します。
- ・定期的（月 1 回以上）な活動計画を持つ活動または事業が対象です。

3) 多様な居場所・学び支援事業

- ・多様な居場所づくりや学び支援活動・事業を立ち上げる計画がある団体を応援します。
- ・定期的（月 1 日以上）に開所または実施計画がある団体を対象とします。

○経費:200 万円

1) 伴走支援(100 万円)

- ・福祉政策の推進・拡充をめざす単協に対して、学習会開催支援や講師派遣、課題整理など、伴走支援へのための費用とし、2 単協への支援を実施します。支援にあたっては当該単協と支援計画を確認した上での実施とします。
- ・現状の単協間の支援機能の実態が大きく異なりますので、すでに機能を持つ首都圏単協は単協内での対応を基本とします。

2) 広報(100 万円)

- ・「つながりづくり助成」をアピールしたチラシを作成し共済連総会などで配布します。また、連合会公式サイトで団体取材報告を連続して広報し、それらをまとめた固定ページを作成します。

4. 助成対象となる活動または事業の活動期間

- ・2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日

5. 助成申し込み締め切り

- ・申請団体 ⇒ 単協：各単協で設定(相談会は9月・10月・11月を予定)
- ・単協 ⇒ 一般社団法人生活クラブ福祉事業基金 事務局：2025 年12月18日(木)

6. 対象となる経費

- ・物品購入費、消耗品費、交通費（ガソリン代含む）、運搬費、会場費、食材費、広報費、講師謝金、ボランティア活動費、保険料（ボランティア保険）など。
- ・団体の運営にかかる費用は対象外（会議費・家賃・食事代・光熱費など）

7. 選考の方法と評価視点

1) 選考方法

- ・生活クラブ福祉事業基金理事会が設置する審査会にて選考します。
- ・書面による選考とします。
- ・単協推薦を考慮する審査とします。審査は、要項に沿っての応募となっているかを中心に実施します。

8. 申請期間・選考及び助成時期

第3回

2026年4月1日～2027年3月31日(助成対象となる活動または事業の活動期間)

募集開始:2025年5月20日(火)

相談会:2025年9月・10月・11月

※応募予定団体・単協事務局は相談会への参加を推奨します。

募集締め切り:2025年12月18日(木)

※募集締め切り前に単協から団体への質問(単協と団体のコミュニケーションの良い機会)を推奨します。

審査会:2026年2月2日(月)

助成金支払い:2026年5月以降

9. 応募方法、助成の決定等

① 応募申請書の提出先

申請書(別紙)をメールまたは郵送で下記に提出ください。

- 1) 生活クラブ会員単協と交流のある各都道府県の生活クラブ生協本部となります。
- 2) 単協は生活クラブ共済連へ応募申請書を提出してください。

※応募申請書とは別に申請団体の設立趣意書や規約など団体の概要がわかる書類も併せてご提出ください。

② 申請書の流れと助成

- 1) いただいた申請書は各地域の生活クラブ生協理事会の推薦に基づき、一般社団法人生活クラブ福祉事業基金(以下、一社福祉基金)の審査会で審査し、結果を審査会終了後1週間以内に生活クラブ会員単協を通してお知らせいたします。
- 2) 審査は書類選考です。さらに詳しい書類や聞き取りをする場合があります。

10. その他

- ・他の行政や民間助成等の助成を受けている活動または事業の場合は申請書に明記ください。
- ・活動終了後に報告書の提出をお願いいたします。
 - 1) 報告書については推薦を行った生活クラブ会員単協が確認し、生活クラブ会員単協から報告書提出をして下さい。【提出締め切り:2027年4月23日(金)まで】
 - 2) 報告書には1年間の決算報告を明記して下さい。
 - 3) 領収書やレシートの提出は不要です。
- ・活動または事業の実態が確認できなかった場合、趣旨と異なる使途が判明した場合は、助成金の返還を求める場合があります。
- ・生活クラブからの活動または事業の取材等にご協力ください。

- ・助成金により購入した備品やリーフレット等に、ロゴマークや文言※を表示してください。
- ※文言の内容は「この〇〇はつながりづくり助成金を活用しています。」としてください。
(イメージ図)



11. 本事業の問合せ先

生活クラブ共済連気付 一社福祉基金 担当 早川 渉

Email wataru.hayakawa@s-club.coop

住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-24-20 KDX新宿六丁目ビル地下1階

Tel 03-4360-3659 Fax 03-5285-1864

第3回「つながりづくり助成」申請書

* 推薦を受けるため生活クラブ〇〇(担当〇〇)へ提出してください。

提出日 年 月 日

※組合員3人以上が関わり、定期的(月1回以上の開所や活動)な計画をもつことを原則とします。

【申請団体概要】

団体名	フリガナ		
住所	〒		
代表者名	氏名	役職名	
担当者	氏名	役職名	
	email		
	電話番号/携帯電話		
設立年月日		活動地域	
主体となる人数	人 (うち組合員 人)		
【新規】事業活動名			
団体の目的			
活動または事業の概要 *どこが新規事業であるかわかるように記載してください。			
①年間収支計画【初年度予算計画の中に自己調達金(会費等)の計画も含めて下さい】 ②年間活動計画 ※それぞれ①②の資料を添付下さい。			
*主要な事項を簡潔に記載のうえ、直近の総会議案書や資料を添付ください。			
今回応募する活動または事業の他の助成状況 *他の助成を受けていても申請は可能です。			
連携している団体			

【申請する事業・活動の内容】

対象となる事業 *該当する項目 すべてに☑をし て下さい。	☐みんなの食堂 子ども食堂。 ☐フードバンク関連活動または事業 ☐多様な居場所・学び支援活動または事業 ☐その他、今回の趣旨に沿った活動または事業 具体的に（ ）
対象となる 活動または事業 の目標・計画・ 具体的な内容、 スケジュール *開始年月 *活動頻度	
申請金額	円
申請金額の使途 を記入して下さい。 (項目ごと に金額などの明 細を記載)	
生活クラブと団 体とどのように 連携するか	
実施体制(協力 者・無償ボランテ ィア)の人数	
支援対象者の 目標人数	
活動状況の団体 独自の広報・報 告方法(予定)	
次年度以降の財 源獲得を見込ん だ、参加費や年 会費などの継続 的な収入確保へ の取組予定	

推 薦 書

応募団体名		
推薦者 (単協)		
単協 担当者	氏名	部署・役職名
	Tel	
	email	
応募団体との連携 <u>*具体的にお書きください。</u>		
推薦理由		

以上のとおり、理事会にて検討し推薦を決定しましたので、この推薦書を提出します。

____年 ____月 ____日

代表者氏名 _____ 法人印 _____

一社福祉基金事務局記入欄: 受付 _____ / _____ No _____

第3回「つながりづくり助成」報告書

提出締め切り日: 2027 年 4 月 23 日 (金)

報告日: 年 月 日

提出者: (助成先団体) ●●団体 生活 花子

●●単協 生活 太郎

団体名	
担当	氏名 tel e-mail
事業・活動名	
助成対象 事業 活動報告	(スケジュール、成果含む)
単協からの コメント	① 助成先団体からの報告・現場確認を踏まえ、本事業の良かった点や成果、課題等をご記入下さい。 ② 今後の展望についてもご記入下さい。

(報告書別紙)

収支決算書(団体名:)

収入		
項目	金額(円)	備考
合計		

支出			✓助成対象事項に○を付ける。	
項目	内訳	金額(円)		備考
	合計		助成対象額合計:	円

※領収書の提出は不要です。

※書類(本書、写真・チラシ等含む)の提出はデータでお願いします。